

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回本庄市総合教育会議		
開催日時	令和6年5月24日(金)	午前・午後 午前・午後	1時30分から 3時00分まで
開催場所	本庄市役所5階504会議室		
出席者	<p>【構成員】 吉田市長、下野戸教育長、岡崎教育長職務代理者、 落合委員、今井委員、清水委員</p> <p>【教育委員会事務局】 笠原教育委員会事務局長、武政教育委員会事務局参事、 新井教育総務課長、西田学校教育課長、 島野教育総務課長補佐、大澤学校教育課長補佐、 市川学校教育課長補佐</p> <p>【事務局】 橋本企画財政部長、柳企画課長、鈴木企画課長補佐、 企画課坂口主査</p>		
議題 (次第)	1 開 会 2 市長挨拶 3 教育長挨拶 4 議 題 学校施設を含む公共施設等の見直し方針について(意見交換) 5 その他 6 閉 会		
配付資料	・次第 ・資料1：本庄市立小・中学校の教育環境の向上について ・資料2：各公共施設の見直し方針(素案) ・資料3：各公共施設の見直し方針(素案)について ・資料4：見直し方針(素案)に基づく公民館の位置図 ・資料5：「市議会との意見交換会」及び「学校運営協議会・ 自治会代表者説明会」の開催結果		
その他特記事項	なし		
主管課	企画課		

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>皆さまこんにちは。本日はお忙しいところ、令和6年度第1回本庄市総合教育会議に御出席を賜りまして誠にありがとうございます。司会を務めさせていただきます、企画財政部企画課長の柳と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、これより会議を始めさせていただきます。</p> <p>なお、本日は傍聴の希望者はおりませんでしたので、御報告させていただきます。</p> <p>次第の2、市長挨拶でございます。吉田市長、よろしく願いいたします。</p>
市長	<p>今年度1回目の総合教育会議ということでございます。本日は本庄市としても大変重要な課題であり、将来を見据えて決めていかなければならない学校施設を含む公共施設の見直し方針についてでございます。</p> <p>これにつきましては、既に教育委員の皆さま方に対しましては、担当より御説明等させていただいたことがあるかもしれませんが。</p> <p>先般、学校運営協議会の委員の皆さまと自治会長の皆さま、合計130人以上の方々に計4回にわたって御参集いただきました。非常に有益な4回の会議だったと私自身も感じており、住民の方々に全体像をしっかりと理解してもらおう上で、どのような形で丁寧に説明していくべきかなど、大変貴重な御意見をいただきました。</p> <p>御意見の中には、学校の統合等については非常に寂しい、子どもたちが置き去りにされてしまうのではないかなど、御心配の御意見もございました。</p> <p>しかし、市としては虚心坦懐に、そのような御意見も含めて全体を受けとめさせていただき、より一層丁寧な説明を心がけるとともに、皆さま方からの有益な御意見を活かし、より充実した子どもたちの教育環境、そして市民の皆さま方の生涯学習を含めた有益な公共施設の在り方等を考えていかなければならないと感じたところでございます。</p> <p>今回の総合教育会議におかれましても、あらためてこの課題について取り上げさせていただきまして、様々な御意見を頂戴できればと思っています。</p> <p>皆さまと議論を交わしながら、本庄市の教育をしっかりとした方向に導いていきたいと考えていますので、よろしくお願い申し上げますとともに、挨拶とさせていただきます。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。続きまして、次第の3、教育長挨拶でございます。下野戸教育長よりお願いいたします。</p>
教育長	<p>皆さまこんにちは。</p> <p>令和6年度が始まりまして、5月の頭に全ての小・中学校を回らせていただきました。</p>

	<p>学校行事等も始まっており、中学校は2校が修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が治まってきてから2年が経過しましたが、学校はコロナ禍前と同様の教育活動を進められていると感じています。</p> <p>ただし、表面化されない課題も各学校にはあり、その課題に対して各学校長が果敢に取り組んでいる姿も見ることができました。</p> <p>本日の議題につきましては、先ほど市長からお話がありましたとおりですが、学校施設を含む公共施設ということで、皆さまに御意見をいただきながら、本庄市の教育を推進してまいりたいと思いますので、本日はどうぞよろしくお願いたします。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>ありがとうございました。 それではここで、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>① 本日の次第 ② 資料1 本庄市立小・中学校の教育環境の向上について ③ 資料2 各公共施設の見直し方針（素案） ④ 資料3 各公共施設の見直し方針（素案）について ⑤ 資料4 見直し方針（素案）に基づく公民館の位置図 ⑥ 資料5 「市議会との意見交換会」及び「学校運営協議会・自治会代表者説明会」の開催結果</p> <p>以上、6点でございます。 それでは、これより議題に入らせていただきます。 本庄市総合教育会議運営要綱第4条第1項の規定により、市長が本会議の議長となることとされており、これからの議事の進行につきましては、吉田市長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>
<p>市長</p>	<p>要綱に基づき、議事の進行をさせていただきます。会議のスムーズな進行に御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議録でございますが、本庄市総合教育会議運営要綱第7条第2項の規定により、「会議録には、市長及び市長が指名する1人の構成員が署名するものとする」とあります。本日の会議録につきましては、私と下野戸教育長が署名するというところでよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（異議なし）</p> <p>それでは、事務局にて作成された会議録につきましては、本日御出席の皆さまに御確認いただいた後に、私と下野戸教育長で署名を行うこととさせていただきます。</p> <p>議事に入らせていただきます。議題「学校施設を含む公共施設等の見直し方針について」、事務局より説明をお願いします。</p>

事務局 (教育委員会 事務局参事、 企画課長補佐)	【議題】 学校施設を含む公共施設等の見直し方針について (資料に基づき説明)
市長	ただいま、「学校施設を含む公共施設等の見直し方針について」説明いただきました。皆さまから御意見・御質問等ございますか。
今井委員	<p>教育委員会から出された題目が、「本庄市立小中学校の教育環境の向上について」というものになっており、統廃合がメインなのではなく、教育環境を整えて教育の向上を図るところが前面に出る方向性で説明や資料も作られており、公共施設とは分けてあるという点がとても分かりやすいと思います。</p> <p>また、今後統廃合される公共施設についてですが、こども家庭庁もできたこともあり、福祉的な施設についてもう少し考えていいのかなと思いました。</p> <p>高崎市には、「子育てなんでもセンター」という複合施設があり、1階には私立の保育園が入っています。また、2階には子育て相談や親子間の交流・プレイルームの広場、専門の保育士も常駐する一時的な預かり施設もあり、事前登録は必要ですが、急用が入ってしまったときや親御さんがリフレッシュしたいときなどに対応できる施設機能や、子育て講座なども実施されているようです。その他にも、同一建物内には就労相談の窓口もあり、市だけでなく、NPO法人や関係団体なども含めて、一体で運営されているようです。</p> <p>公民館などで同じような講座を開いても、なかなか人が来づらいということもありますので、開放的な複合施設が整備されるようであれば、様々な年代が、それこそ老人ホーム系のような施設機能も含めて連携を取れるような施設ができていくと良いと考えています。</p>
市長	<p>非常に有益な御意見、ありがとうございます。</p> <p>統廃合という場合においては、どうやって新しいものを生み出していくかという視点が必要だと思います。</p> <p>高崎市の施設は、市内のどのあたりにあるのでしょうか。</p>
今井委員	まちなかにあります。駐車場が遠いという難点はありますが、すごく立派な建物です。
市長	そのような良いところは、真似していくことも大切だと思います。
今井委員	しかし、高崎市も榛名の方まで広い面積を持ちますので、なかなかそこまで行けないという方もおり、課題もあるようです。お子さんも多いので、各支所のようなところにもセンター機能を広げていくといった可能性もあるようです。

市長	<p>新しく建てるだけではなく、既存施設をどのように活用するかということも含めて重要なことですね。</p> <p>これからの少子化時代において、やはり子どもたちのことを考えてしっかりと手厚い取り組みを進めることで、少しでも出生率の低下を食い止めるとともに、安心して子どもを産んで育てやすい社会を作っていくことがすごく大事になってくると思います。</p> <p>非常に将来を見据えた御意見だと思います。</p> <p>その他に、御意見等ございますか。</p>
岡崎委員	<p>今井委員の御意見に近いところがありますが、やはり大規模な見直しを図る上で、市外から人を呼び込むことができるアピールポイントが必要だと思います。少子化を食い止められるぐらい人が移り住んでくるような魅力のある施設や設備、そして生まれ変わる学校についても、小中連携等も含めて、他ではやっていないようなことを売りにすることも含めて、統廃合を進めていけたら良いと思います。</p> <p>計画を見直すのであれば千載一遇の機会だと思いますので、これを機に歴史と教育のまちであるということアピールできるようになればと期待しています。</p>
市長	<p>岡崎委員の仰ることで、私も気づかされたところがありまして、学校や公共施設の統廃合をいわゆる後ろ向きなものとしてやるのではなく、50年、100年といった将来を見据えて、本庄市としての在り方を出していくということが重要だと思います。</p> <p>そういう意味で、教育については、しっかりとした柱ができるのではと感じています。</p> <p>公共施設についてはまだ継続的な検討が必要な部分があり、例えば早稲田大学の関連施設などをどのように活用していくかということを含めて考えていく上で、本庄南公民館や旧保健センターの跡地などの活用方針も先を見据えて検討していく必要がある状況です。</p> <p>今後も検討していく中で、将来への前向きな取り組み、例えば子育て支援の拠点を作るということや、それを踏まえて全体の施設の統廃合をこうしていくといったことを打ち出していきたいと考えています。</p> <p>全体を見据えた上で、例えば今回の共和公民館と隣接する空き地を活用して整備予定の施設については、シルバー人材センターも集約して高齢者福祉センターのような機能を持たせるといった点や、小学校のプールを集約化して通年で共同利用できるようにするとともに一般の方も利用できる、そういった施設が共和にできることも魅力的だと思っています。それ以外に、今後、例えば本庄駅の北口整備の中で魅力的な施設を整備することで、それを軸にして統廃合するといった、市としての全体像も示していければ、市として良い将来を築いていけるのではないかと考えています。</p>

	<p>今井委員、岡崎委員の御意見を聞いて、必要な考えだと思えました。ありがとうございます。</p> <p>その他に、御意見等ございますか。</p>
落合委員	<p>児玉で行われた説明会に全て出席させていただいたのですが、良好な教育環境が整えられるということが、先日の説明では少し分かりづらいと感じました。</p> <p>校舎など、自分が通った学校に愛着がある方もいますので、それが無くなってしまふとなると、非常に残念な思いがあります。児玉地域では、その点について意外に地域の温度差がありますが、非常に思いが強いところもありますので、統廃合で自分たちの孫たちが通う学校が遠くに行ってしまうと残念だという思いながらも、スクールバス等で通学できるようになるということで納得しているのだと思います。</p> <p>しかし、まだ具体的なビジョンが見えてこないところがあり、その点が先日の説明会でも、良好な教育環境が整備される、子どもたちにとって良い状況になるといった説明がありましたが、どこがどのように変わってくるのか、もっと分かりやすく表現されて伝えてもらう必要があるのではないかと思います。</p> <p>また、参加された皆さんが驚いていたのは、資料にもある、学力が県の平均を下回っているということでした。参加された方も子どもたちの御家族も御存知ではないと思いますので、その点をどのように伝えていくのか、そして学校教育の中でどう対応していくというような指針を提示していかないと、地域としても混乱してしまいます。県平均との関係については、皆さん認識していないと思いますので、平均を下回っているという状況で、例えば、今後、東京に行ったらどうなるのだろうかなど、基礎学力の問題を心配する人も出てきています。</p> <p>そのため、学校教育と地域教育、そして家庭教育というものをどのように本庄市は進めていくといった大きな指針を出して、様々なプロジェクト、地域教育計画といったものを立てて、皆さんに理解していただきながら、そしてそれが公的な施設とリンクしていくということを、中学校2年生ぐらいが読んで分かるような形で出さないと混乱してしまうといった懸念を、他に参加された数人からいただきました。</p>
市長	<p>これは非常に大事な話だと思えます。後半の学力に関する点については、教育長からも御意見をいただきたいと思えます。</p> <p>前半の学校の統廃合につきましては、私も説明会に参加して御意見を聞いている中で、全ての人が同じではありませんが、児玉地域では全学校が同じ時期に統合するということで、学校への愛着ということも踏まえて致し方ないという思いも強く感じました。そして、もし旧児玉高等学校の跡地に新しい学校を整備するということであれば、新たな魅力の創造ということもあって良いのではないかと思いますという御意見も聞こえてきているところです。本庄</p>

	<p>地域では、最初に統廃合に直面する藤田地区、仁手地区としては、子どもたちを取り巻く環境が変わることへの不安、愛着のある学校が無くなることへの不安、仁手小学校については小規模特認校として地域でも頑張ってきた中で、このことでやるせないといった御意見もいただいております、私自身としても、これについてはつらい思いがあると同時に当然の御意見であると考えています。しかし、将来を考えていく上では踏み出していかなければならない時代に来ているというところで、私自身もビジョンを提示して、そのビジョンに向かって乗り越えていく、進んでいくということが必要だと感じています。</p> <p>学力については、教育長からも御意見をいただきますが、私としては現況について周知していかなければいけない部分があると思います。ただし、学力以外のところでは良い結果が出ているところもあり、住民説明会ではそのような点についても盛り込んで御説明していきたいと考えています。</p>
教育長	<p>学力について、各学校でも「学校だより」等で全国や県の平均点と各学校の点数等をお知らせしています。学校ごと、あるいは国語や数学などの教科でも状況がことなりますが、市全体として、平均を下回っている状況です。</p> <p>先日の説明会でも御指摘いただいた際に、本庄の子どもたちは他の地域の学校と比べても先生がしっかりと自分たちのことを見てくれているという意識や、自分にはこういう夢があるといったことを示す数値が全国や県の数値と比較しても非常に高いといった素晴らしい点を御説明させていただきました。そのような素晴らしい点を、もっとアピールしていかなければならないと考えています。</p> <p>また、本庄型授業スタンダードということで、取り組みを始めて7年目となります。以前、元文教大学の嶋野道弘先生に御指導いただいた際に、本庄型授業スタンダードという中で、先生の授業のやり方や子どもを中心とした授業がしっかりと定着してきているので、各学校で足りていない点を補いつつ取り組めば、必ず結果は出てくるだろうとお言葉をいただきました。各学校の校長先生や教育委員会としても、ここから点数という点においても結果が示せるように、市全体で検討しているところでございます。</p>
市長	<p>子どもたちの肯定感が強い、やる気もあるという結果が出ていることを考えれば、先生や教育委員会として現在足りていない点を補うことで、学力の点数という面でも結果を出せるようになるのではないのでしょうか。</p>
教育長	<p>先生と子どもたちの間でも、互いの頑張りや高め合う思いを共有し、取り組んでいくことが大事になってくると考えています。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>その他に、御意見等ございますか。</p>
清水委員	<p>先生方のお話を伺って、子どもたちのモチベーション、そして先生方のモチベーションを上げるにあたって、環境の要素が非常に大きいと思います。</p> <p>そのため、学校の施設自体が新しくなることや教育環境の変化は子供たちにも良い影響を与える要因となるとともに、先生たちにとっても、そんな子どもたちの様子を見て、モチベーションを上げて教育に当たれるのではないかと思います。</p>
市長	<p>清水委員の御意見を聞いていて、これまで先生方はフィジカル的な観点からのアプローチが主流だと思いますが、今後、メンタル的な観点からアプローチをかけていくことで期待できる面も増えていくのではないかと感じたところでございます。そういった観点から、子どもたちと先生方の関係、そして教育環境について考えることが非常に大事になってくるのだと思います。</p> <p>「水は方円の器に従う」といった言葉もありますが、環境が人を作っていくということで、教育環境という器が重要ですね。</p>
落合委員	<p>中野区の教育委員会に努めていた際に、当時から有名な指導主事がおりましたが、「これからは家庭教育を充実していかなければいけない。」と言っていました。嫌がる方もいらっしゃいましたが、家庭教育学級というものを作り、月1回、4か月にわたって、各学校のPTAの方々などのニーズを伺った上で、様々な講師を呼んで取り組んできました。例えば、子育てに関することや心理学、経済的な問題、家族の輪をどう作るかといった家庭的なものまで、両親が学ぶ場を作りました。その結果、子どもたちにとっても、両親や学校、地域がちゃんと自分たちのことを考えていてくれるという認識が生まれてきました。そういった積み重ねが、学校や地域の教育力を上げるものになるのだと思います。</p> <p>両親と子どもの間でのやり取りを含めて様々な循環系を作ること、本庄市でも例えば循環系教育といったプロジェクトを考えてみると、国際化が進む中での取り組みとして良い影響があると思います。</p> <p>社会情勢もあるので、例えば3年くらいで内容が少し変わってしまっても良いと思います。まず、そういったプロジェクトを打ち出して、取り組んでいくことも大事なのではないのでしょうか。</p>
市長	<p>家庭教育については、様々な大学や団体がアプローチしており、市内でも各学校のPTAや団体が活動しているところでございます。子どもたちの置かれる環境もどんどん変わっていく中で、常にチャレンジしていく姿勢ということは重要だと感じています。</p> <p>今後、小中一貫教育を進めていく上で、教育委員会として考えている地域や家庭に対するアプローチや、どのようなところを重点的にやっていくことがより良い循環につながるかという点について、教育長からお考えがあればいただけますか。</p>

教育長	<p>家庭教育学級については、本市でも各学校でPTAが中心となって実施しておりますが、そのPTAの在り方という点についても、現在、難しい部分がございます。また、各学校で工夫して実施しているところではありますが、参加率についても課題がある状況です。</p> <p>その一方で、「学ぼう舎」のような取り組みにはたくさんの子どもたちが参加しており、ニーズがあることが確認できています。様々な体験をする上で、子ども自身が地域の方々から学びを得て地域とつながっていくということは、現在は小学生が主な対象となっておりますが、今後、中学生まで対象を広げていくことや中学生が小学生に対して教える取り組みなども実施することで、自分たちも実施する側となって学びを循環させていくといったことも、個人的には必要になってくると考えているところです。</p>
市長	<p>かつては大家族で兄弟もたくさんいる中における人間形成への影響というものも大きかったですが、核家族が増加している中で、家庭教育と地域教育を分けるのではなく、家庭プラス地域で子どもたちを育てていくようなアプローチをしていかないと、子どもたちにとっても良い環境は作れないのだろうと思います。そのような点で、「学ぼう舎」はとても良い取り組みですね。</p>
落合委員	<p>「学ぼう舎」の展開に当たり、子どもたちはどのくらい参加しているのでしょうか。</p>
事務局 (教育委員会 事務局長)	<p>直近3年間の参加児童のデータでは、令和2年度が445人、令和3年度が726人、令和4年度が890人と右肩上がりに増加しています。</p> <p>地域の方をお願いして指導者となっていただいております、様々な勉強を初め、子どもたちの体験学習の機会と安心できる居場所の提供という二つの側面がございます。</p> <p>参加児童も増加していることから、開催場所を増やしたいという考えがある一方で、地域での指導者の方々の確保が大きな課題となっております。</p>
市長	<p>指導している地域の方々は、子どもたちにとって本当にすごいことをしていただいておりますね。</p>
落合委員	<p>同じようなものになりますが、新町自治会では、自治会館で子どもたちのお囃子の練習会があります。自治会で実施していることですが、練習時には車で20台くらい来ており、遠方からも来る子どもたちがいます。教えている人たちも、会社員や地元の青年会が教えてくれており、大変盛況です。</p> <p>ただし、過去に一度アクシデントがあり、叩けない子に対して指導した者がちょっと厳しいことを言ってしまったのですが、その時は、数週間程度、遠方から来ている子どもたちの足が止まってしまうということがありました。そういったところで、先日、教える側の若手の者にどう考えて指導しているか聞いてみたので</p>

	<p>すが、やはり自分の子ども以外になると関わり方、言い方が難しいということをしていました。</p> <p>そのようなことを踏まえて、どのように実施していくかを考えることが、地域としても評価検証する上でのプログラムの一環ではあると思いますが、子どもたちが地域の中でどのように物事を学ぶことが良いか、マニュアルとまではいかななくても、良い事例を出していただくと地域における子どもたちへの家庭教育も発展するのではないかと考えております。</p> <p>例えば、子ども向けのスタンプラリー等を実施しようとしても、実施する側としては内容を分かっている、それをどのように子どもやその家族に説明していけばよいか分からないため、結果、参加者が少なくなってしまうこともあると思います。そのため、そのようなマニュアルや事例の提示というのは、良い効果につながるのではないのでしょうか。</p> <p>子どもたちが参加すると家族も一緒に参加することが多くなってきたため、そのようなところで良い循環が生まれることで、地域教育、学校教育、家庭教育の発展につながっていければ良いと感じています。</p> <p>また、学校区や自治会などで指導者を探して実施する上でも、指導者が自治会長のように年配者だと、子どもたちも関わりにくいところがあるようです。そのため、地域の青年たちにも協力してもらおうことが大事であり、先ほどお話したお囃子については、児玉地域では4町で青年部が頑張っており、子どもたちがしっかりと継承していくという事例もございます。</p>
市長	<p>地域の方々に怒られながらも、そこから気づきを得て育っていくということが過去には当たり前でしたが、時代が変わって、それが難しい風潮がある中で、中にはそれを克服しながら実施できているところもあると思います。そのような成功事例を地域で共有することも重要だと考えています。例えば、落合委員の若い指導者との会話の中にあつたことや、自治会長が様々な行事を実施する中でこうやって解決できたというような事例が、学校からでは見えにくい成功事例の一つなのだと思います。</p> <p>全国的に、先生方としても、昔と現在で地域や親御さんとの関わり方が大きく変わってきてしまっているところもあり、困っているところがあるという話を聞きます。難しい問題ではありますが、何かそれを克服したような事案、事例を共有できればとは考えているところでございます。</p> <p>その他に、御意見等ございますか。</p>
今井委員	<p>学童保育所を本庄東小学校、中央小学校の学校敷地内に整備予定ということで、可能であれば本庄西小学校など、他にも統合が予定されている学校についても同様に学童保育所が整備されると、スクールバスなどで通学距離が遠くなってしまう子どもたちや家族にとっても安心につながると思います。</p>

	<p>学校の統合で通学距離が遠くなって、更に学童保育所も自分たちで新たに見つけなければならぬとなると、保護者の方々も納得されにくくなってしまわないかと不安があります。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>学童保育所につきましては、現在、民間18施設、公立4施設がございます。公立4施設を、本庄東小学校、中央小学校に移設するという方針内容となっておりますが、今井委員の仰るとおり、今後、学校の統廃合も関係していく中で学童保育所の在り方についても、民間の学童保育所のお話を伺いながら検討していく必要があると考えております。</p>
今井委員	<p>学童保育所を公設し、民間に委託するというような考えもあるのでしょうか。</p>
事務局 (企画財政部長)	<p>施設整備の手法や委託の可否なども踏まえて、民間の方々の御意見を伺いながら検討してまいります。</p>
市長	<p>統合先となる小学校につきましては、統合前に大規模改修を実施し、要するに新築ではありませんが再整備されることとなります。統合によりキャパシティを増やす必要もありますので、学校内の環境も大きく変わることとなります。</p> <p>参考例として、現在実施している本庄西中学校の大規模改修が挙げられると思いますが、内装の木質化を実施し、実際に中に入ってみると新築と見間違えるような環境です。環境が子どもたちを作っていくということもありますので、ただ統合するだけではなく、そのような点を考慮して進めてまいります。</p> <p>また、学童保育所につきましても、現状、本庄東小学校で定員が不足しているという状況もあることから、今後、他にも同様の課題が発生す可能性がございます。それらを踏まえて、方向性を示してまいりたいと思います。</p> <p>予定時間が迫っておりますが、他に御意見等ございますか。</p>
落合委員	<p>情報共有なのですが、児玉の新町の旧高橋写真館向かいに、金屋にあります児童養護施設「桑梓」が新たに分室を展開すると伺っており、数人の子どもたちをお預かりし、子どもたちは金屋小学校に通うとのことでした。</p>
教育長	<p>桑梓と金屋小学校では、既にお互いの情報共有が非常に良好なものとなっているため、学校区としては児玉小学校区となりますが、その点を考慮して引き続き金屋小学校に児童を通学させるという判断をされたと聞いています。</p>
落合委員	<p>それが良いと思います。そのような情報が自治会に来ておりましたので、情報共有させていただきます。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは時間となりましたので、本日の議事はこれで終了とさせていただきます。進行を事務局へ返します。</p> <p>本日は貴重な御意見をたくさん頂戴することができました。私</p>

	<p>自身も非常に勉強になったと感じているところでございます。 ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>皆さまには、慎重な御審議、大変ありがとうございました。今後の御参考にさせていただきたいと思えます。 最後にその他といたしまして、今後のスケジュールについて御説明したいと思えます。 今年度の総合教育会議につきましては、計3回を予定しております。第2回の会議を11月上旬に開催したいと考えています。日程が決まり次第、開催通知を発送いたします。また、第3回の会議を来年1月頃に開催したいと考えていますので、よろしくお願いたします。 その他につきましては、以上でございます。それでは、以上をもちまして、総合教育会議を終了いたします。本日はありがとうございました。</p>

市 長 吉 田 信 解

教 育 長 下 野 戸 陽 子